

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 月例セミナー

○とき 平成24年5月18日（金）16時～17時
ところ 農学部DS304講義室

題目 「イネ病害抵抗性におけるジャスモン酸シグナルと揮発性物質の役割」

講師 農学部准教授 五味 剣二 博士

概略

植物の防御応答に深く関与する植物ホルモンのひとつであるジャスモン酸は、植物揮発性物質の生産にも関与していることが、近年明らかとなってきた。また、様々な植物揮発性物質が、直接的、間接的に防御応答に関与していることも、近年の研究によって明らかにされつつあり、世界の重要作物であるイネの病害抵抗性においても揮発性物質が深く関与していることが明らかとなっている。

今回、イネの重要病害のひとつである白葉枯病に対する防御応答におけるジャスモン酸シグナル伝達機構の重要性と、そのシグナルによって誘導される揮発性物質の探索と同定、その病理学的役割の一部を紹介したい。

参考文献

Role of hydroperoxide lyase in white-backed planthopper (*Sogatella furcifera* Horváth)-induced resistance to bacterial blight in rice, *Oryza sativa* L. Gomi et al., *Plant J* (2010) 61: 46-57.